

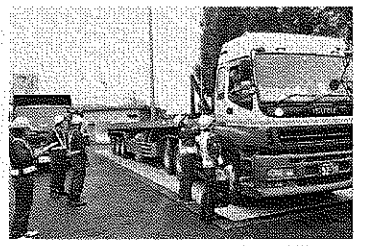
首都圏で大規模取締り実施

違反減少、荷主や運送会社が警戒

国土交通省、東京都、埼玉県、首都高速道路、東日本高速道路、中日本高速道路は十一月九日、過積載等の違反に対する「首都圏大規模同時合同取締り」を実施した。道路・車両制限令(重量超過等)、道路交通法(同)、道路運送車両法(不正改造等)の違反に対するもの。

計十八ヶ所で89台の改造車両2台に対して整備命令を行った。

ころ、違反18台に指導警告を行い、重量超過の12台に対しては積載物の軽減や通行中止などの措置命令を行った。また



昨年同時期の合同取締りに較べると違反数が大幅に減った。引き込み計測台数は28台、指導警告は5台、措置命令は13台も減少している。その背景として、昨今の取締り強化に荷主や運送会社が警戒を強めつつあることが窺える。

取締り場所により違反数に大きな差があった。最も多かったのは昨年と同じ新座料金所で違反台数は8台にも及んだ。これに東新橋台貫所の4台、NEXCOC中日本東京料金所の3台とつぎ、権

基礎工事用機械の「二級六種」は、学科受験者が68人で合格者は36人(合格率52.9%)。実地受験者は37人で合格者34人(合格率91.9%)だった。一級

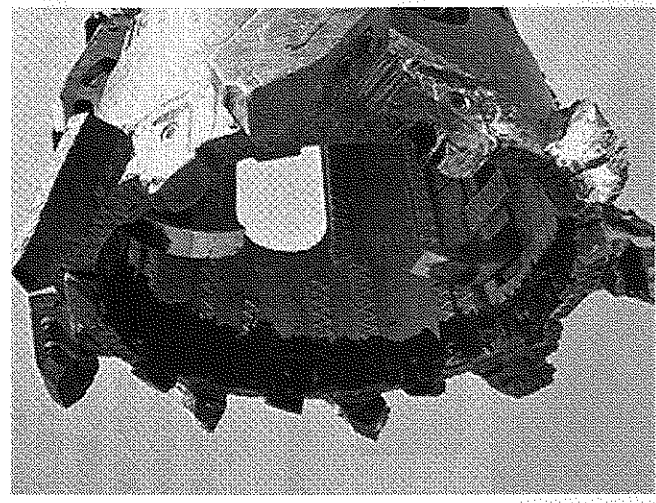
は学科受験者が2949人で合格者825人(合格率28.0%)。実地受験者は1046人で合格者662人(合格率63.3%)となった。

確実な引抜きと確実な充填・超重量杭の引抜き

チャッキング工法 ヒロワーク工法

(第一面に記事) 既存杭引抜き工法協会(桑原秀一会長)は日本杭抜き協会(協会顧問)と連携し、協会の指導のもと、これまで抜き跡地盤の不良化や周辺地盤への影響の解決に向けて、抜き跡への注入方法や注入管理の技術向上、最適な注入材の開発などに取り組んできた。

確実な引抜きと確実な充填のために考えられたチャッキング工法「杭先端、ワイヤーチャッキング工法」。会員のひとり「確実に安全に引抜けること、引抜きながら充



PG工法はケーシングで杭全体を包み込んで引抜くので中折れ、破損、ジョイント不接合など状態の悪い杭、無筋で折れやすい柱状地盤改良杭、傾斜角約3度までの斜坑なども確実に撤去する。また既存杭周辺建築物や既存杭の残置しやすい部分も共に撤去できる。たとえばベテスタル杭の先端球根、コンクリートパイロ杭周のセメントミルク固化物、拡大根固め固化部、余掘りセメントミルク固化部、H鋼杭やSMWのH鋼芯材全長、芯材に付着しているセメントミルク固化物や芯材に深に築造のソイル部や余掘りセメントミルク固化部など、これらを撤去できない杭から剥離して地中に残存してしまうところだが、PG工法は既存杭引抜き工事を地盤環境修復工事と捉え、既

存杭の完全撤去を目的としている。そして杭引抜き時には杭穴最深部から、充填材を注入しながら引き上げる。現在では、独自の杭引抜き専用の施工管理装置を使用し、ケーシングの引き上げ速度、充填材の吐出量などを一元管理し、引抜き孔の全長にわたって確実な充填を行い、抜き跡地盤の品質向上を実現している。

孔し、杭を原型のまま引き上げる。杭径1800mmより大口径の杭引抜きも可能で、杭径2500mm、杭長30mという超重量杭の引抜き実績もある。

三点式杭打ち機やテレソクレインなどで施工するので騒音振動を低減でき、工期とコスト面で有利。また敷地境界線など機材設置スペースに制限がある場合も比較的柔軟に対応できる。

また引抜き孔では強制的な攪拌方法を用い、抜き跡地盤の品質向上にも取り組んでいる。大口径杭は抜き跡も巨大なので注入による地盤環境整備は特に重要。この工法では、杭を引抜きながら杭側面から充填材を注入し杭穴最深部まで行き渡らせ、さらに杭孔の上下層を強制攪拌することを目的とした「エアブロー工法」も採用している。

山留・土留設計講習会 事例多数とりあげながら

公益社団法人地盤工学会は十二月二十一日、都内で「山留め・土留めの設計講習会」を開催する。GICPDポイント数は5.5。

山留めは掘削工事において最も一般的な工法。近年では簡易な計算ソフトによる設計が主流となっているが、実務に携わるうえでその基礎理論について理解を深めることが重要となる。

講習会は、初めて山留め設計を学ぶ人、また携わってきた人にとっ

ても有益な学習ができる構成となっている。以下は講習内容。

①山留め・土留めの概要・計画(小島謙一(鉄道総合技術研究所))

②掘削底面の安定検討、根入れ長の決定(渡邊洋介(鹿島建設))

③壁・支保工の設計(渡邊洋介(鹿島建設))

④近接施工、計測管理(

青木雅路(竹中工務店) 事例紹介(荻野竹敏(東京地下鉄)/寺島善宏(首都高速道路))

開催要領

日時 平成三十年十二月二十一日(金)

会場 学会大会議室(東京都文京区千石)

会費(税込) 会員一〇〇〇円/非会員一八〇〇円 学生会員三〇〇〇円

〇〇円/後援団体の会員一六〇〇円

配布資料 講習会のために講師が作成する説明資料の縮小コピーを配布

定員 七十人

講習会申込み方法

氏名、勤務先、同住所、同電話番号、FAX、メールアドレス、会員(会員番号)・非会員の別を明記した申込書を

FAX、メールで送る。

申込み先 学会講習会係 E-mail: kosyuk ai@jibar.or.jp FAX 03(3946)8678、電話 03(3946)8671

申込みフォーム http://www.jgs-shop.pine.net/product_s/list.php?cate=ory_id=7

女性技能労働者から見た建設現場 建専連全国大会 建設産業専門団体連合会(会員に全基連、日基協等/才賀清二郎会長)

パイル十月10%増 中四国1年ぶりに増

コンクリートポール・パイル協会によると十月のパイル出荷は前年同月の10.0%増の24万8千トンで三ヶ月ぶりに増加した。北海道二ヶ月ぶりに増加、東北三ヶ月連続、関東四ヶ月ぶりに増加、山静四ヶ月連続、北信越八ヶ月連続増、中部四ヶ月ぶりに増加、関西二ヶ月ぶりに増加、中四国十二ヶ月ぶりに増加、九州五ヶ月ぶりに増加。

官需が5.7%減で民間17.4%増

官需土木は4.2%増 「鉄道・道路」6.8%減 「農林・土木」7.3%減

「港湾・河川・海岸・堤防・砂防」が5.4%減、「上・下水道」四・三倍「その他」11%増

官需建築は1.4%減で「住宅」6.9%減、「戸舎・文化施設」が3.1%減、「厚生」3.1%減、「学校」2.0%減、「その他」1.3%増

民間建築は1.7%増で「住宅」4.7%増、「事務所・店舗・娯楽場」3%増、「工場」4.3%増、「流通・倉庫・運輸」3.1%増、「その他」が2.5%減

官需土木は5.1%増。官需と民間の比率は27.6対72.4。

十月地区別出荷量

北海道 10、201ト (128.7)

東北 141.3 (141.3)

関東 91.9 (86.2)

山静 3.1 (111.5)

北信越 17.9 (186.0)

中部 27.6 (105.4)

関西 30.7 (103.3)

中四国 21.1 (101.1)

九州 31.3 (332.1)

計 248.0 (110.0)

前年同月比指数

北海道 90.6 (99.6)

国内合計 1,692,778ト (106.4)

セメント11%増

セメント協会によると

十月の国内販売量は前年同月比10.9%増の400万トンで二ヶ月ぶりの増加となった。以下前年同月比・指数。北海道99.5/東北108.8/関東(神奈川、東京、千葉、埼玉)118.8/関東(茨城、栃木、群馬、長野、山梨)99.2/北陸122.5/東海115.5/近畿114.3/中国106.9/中国105.1/九州110.1/沖縄87.2

外需は27.5%増の1630億円、総計は23.5%増の2526億円となった。内需が四ヶ月ぶりの増加、外需と総計は二ヶ月ぶりの増加だった。クレイン内需は二ヶ月ぶりに増加し、基礎機械内需は七ヶ月ぶりに減少。海外は北米が十四ヶ月連続で増加するなど五地域で増加した。

十月・機種別内需

△油圧ショベル

△基礎機械

2,855百万円 (81.8)

△建設用クレーン

10,347百万円 (101.8)

△油圧ショベル

25,813百万円

△ミニショベル 9,035百万円 (111.1)

△十国内出荷台数

△クローラークレーン 24台 (85.7)

△ラフレインクレーン 55台 (97.2)

△油圧ショベル 2,155台 (78.6)

△ミニショベル 2,919台 (110.3)

生コン出荷1.4%増

全国生コンクリート工業組合連合会によると十月の出荷量は前年同月

| 銘柄 | 10月末 | 11月高値 | 11月安値 | 11月末 | 市場 |
|------------|------|-------|-------|------|------|
| 麻生フォームクリート | 577 | 730 | 550 | 560 | JQS |
| 太平洋基礎工業 | 6400 | 6380 | 6110 | 6380 | JQS |
| テクノックス | 918 | 918 | 824 | 841 | JQS |
| 日本基礎技術 | 361 | 379 | 316 | 346 | 東証1部 |
| 日特建設 | 737 | 756 | 660 | 700 | 東証1部 |
| ジェコス | 1076 | 1154 | 1060 | 1154 | 東証1部 |
| 丸藤シートパイル | 2494 | 2499 | 2371 | 2421 | 東証2部 |
| 丸紅建材リース | 2174 | 2346 | 2054 | 2095 | 東証1部 |